

平成 18 年（2006 年）9 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（1 日目）

平成 18 年 9 月 13 日（水）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	喜舎場 盛三 (公明党)	1 消防行政について  2 教育行政について	(1) 消防組織法が 6 月に改定されているが ① その背景と内容を伺う  ② どのような対応が求められているのか、 具体的に説明していただきたい  ③ 解決すべき課題を伺う  (2) 本年度から、AED が本市の公共施設に設 置され始めたが、これからまだ拡充していく のか  学校施設の木質化について 小中学校などの学校施設の内装に木材を使用 すると、木材の持つ特性で教室環境を向上させ るとともに、子どもたちの情操教育あるいは健康状 態に良い結果を及ぼすと言われている  (1) 本市の小中学校で、教室の内装に木材が使 用されている学校はあるのか  (2) 本市においては、これからいくつかの学校 の改築が予定されている。財政的にみて厳し いと思うが、教室の内装にできるだけ木材を 使用することが検討できないか

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 都市計画行政について</p> <p>4 保育行政について</p> <p>5 福祉行政について</p>	<p>牧志・安里地区市街地再開発について</p> <p>(1) 事業の進捗状況を伺う</p> <p>(2) 地権者の皆さんとの補償交渉は、どの程度進んでいるのか</p> <p>預かり保育について</p> <p>(1) 現在本市で行われている幼稚園における預かり保育の状況を伺う</p> <p>(2) 松川幼稚園で園舎改築が行われるが、その機会に預かり保育室と子育て支援室を兼ねた教室の設置の要望がPTAよりあるが、検討できないか</p> <p>ファミリーサポートセンター「介護型」について</p> <p>旭川市では高齢者等を抱えて働く人が安心して仕事と家庭を両立できるように「手助けを受けたい人」と「手助けを行いたい人」が会員になってお互いに助け合う、ファミリーサポートセンター「介護型」の事業を実施している</p> <p>本市においても同様の事業を検討できないか伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長</p>

個人質問（1日目） 平成18年9月13日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	比嘉瑞己 (日本共産党)	<p>1 大幅な増税による、お年寄りの病院窓口負担への影響について</p> <p>2 「医療難民」について</p>	<p>住民税の老年者控除の廃止、公的年金等控除の縮小、非課税措置の廃止、定率減税の半減など、高齢者を狙いうちした税制改悪の影響で、8月から病院での自己負担も増大する。影響を伺う</p> <p>(1) 月1回、高血圧や糖尿病の治療で通う患者さんの医療費や薬代の自己負担(1割)は、平均的に幾らか</p> <p>(2) 税制改定による影響で、これまで「1割負担」から「2割負担」になった高齢者の人数を伺う。またさらに、10月からの医療制度改定は2割負担の人は3割負担になる。市独自の軽減制度を創設すべきである。当局の見解と対応を伺う</p> <p>わが党は2月代表質問で7月からの診療報酬改定で、病院から追い出される患者さんが急増し「医療難民」になると指摘したが、実態を伺う</p> <p>(1) 実際に追い出される事例は何件と予想されるか</p> <p>(2) 県内・市内の診療所・病院における、医療型療養病床数・介護型療養病床数及び、受け皿となる県内・市内の介護施設の病床数、待機者数を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 「介護難民」について	<p>地域での受け皿がないために「介護難民」となる人も増えている。市の支援はどうなっているか伺う</p> <p>(1) 今回の介護保険改定によって、介護保険から外された「要支援1」「要支援2」の人は何人か。また「一般高齢者」「特定高齢者」の定義、認定方法、認定者数はいくらか。そして、住民検診による選定実績を伺う</p> <p>(2) 地域相談センターに委託している、「地域支援事業」のうち「特定高齢者」、「一般高齢者」向けの事業予算、実績はいくらか伺う</p> <p>(3) これまで介護保険で「電動ベッド」を利用していた人は、新制度によって何人減ったか伺う。市独自の「福祉用具貸与制度」を創設すべきである。当局の見解と対応を伺う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（1日目） 平成18年9月13日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	山川 典二 (自民・無所属 連合)	<p>1 沖縄県によるマングローブ伐採について</p> <p>2 モノレール沿線の植栽の実態について</p> <p>3 教育行政について</p>	<p>水鳥の生息地として重要な湿地と、湿地に生息する動植物の保護を目的としたラムサール条約に1999年に登録された那覇市漫湖のマングローブが、今年7月24日から8月3日にかけて約500mの区間で沖縄県南部土木事務所によって伐採除去された。適正な管理が行われているのか当局の見解を伺う</p> <p>ゆいレール（モノレール）の軌道を支える柱やその真下の植え込み等の管理について聞く</p> <p>(1) 植栽計画</p> <p>(2) 管理内容と管理費</p> <p>(3) (1)と(2)の国、県、市の役割と内訳</p> <p>東京都杉並区立和泉小学校は、校庭前面が芝生の学校で（芝生の面積：約2600㎡）その芝生を生かして環境教育に力を入れている。芝生の手入れは子供たちと教職員が行っているが「グリーンプロジェクト」という保護者や行政や芝生の専門家を巻き込んだ地域ぐるみの芝生を守り育てる組織もでき、主体的に活動中である そこで質問する</p> <p>(1) 市内の小学校の校庭を全面芝生化する考えはないか</p> <p>(2) すぐに実施できない理由は何か</p> <p>(3) 急速にコンクリートジャングル化する本市の環境負荷軽減にも貢献すると思うがどうか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 病院行政について	<p>平成16年度那覇市病院事業会計決算審査において「高額医療機器について管理基準を定め、稼働状況を把握するように。」との指摘に対し未だ指摘事項の改善がなされていない</p> <p>平成17年度那覇市病院事業会計決算審査意見書においても「規程等による管理基準は整備されていないので、医療機器、事務備品等については速やかに整備する必要がある。特に、高額医療機器等の重要備品については、定期的な自主点検体制の仕組みと稼働状況についての個別評価を併せて検討されたい。」と指摘されている</p> <p>以下質問する</p> <p>(1) 高額医療機器とは幾ら以上の医療機器をいうのか</p> <p>(2) 高額医療機器の導入方法・選定基準とその根拠は何か</p> <p>(3) 高額医療機器選定委員会の構成メンバー</p> <p>(4) 高額医療機器の過去5年間の導入実績と選定内容（競争入札か随意契約等含む）</p> <p>(5) 今年度、高額医療機器の導入予定とその理由・目的・方法・効果・予定額はどうか</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、教育長、病院事業管理者 関係部長</p>

個人質問（1日目） 平成18年9月13日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	金城 徹 (自民・無所属 連合)	行財政運営に ついて	<p>(1) 翁長市長は、今年度の施政方針の中で、地方自治体は、三位一体の改革、地方分権の流れの中で「自己決定」、「自己責任」により大胆に行政運営に取り組むことが求められている</p> <p>今年度は、第2次那覇市経営改革アクションプランに基づき、今後の厳しい行財政環境に対応するため、公民の役割分担の徹底、市民との協働の促進などにより、一段とスリムな市役所を目指し、改革に邁進すると述べておられる</p> <p>同プランより以下について伺う</p> <p>① 庁内分権を確立し、行政評価や目標管理システムが連動し、予算編成や定員配分の決定に使える各種制度が連動する行政経営の仕組みを確立する</p> <p>② 政策・目標体系に基づいた組織の統廃合を進め、庁内分権を充実させるとともに、特に重点化が求められる施策は、戦略的な定員配置を行う</p> <p>スペシャリストの職位の設置、職務に応じた多様な任用形態の導入を検討する</p> <p>③ 成果志向への転換</p> <p>行政評価等を活用し事務事業を見直し、不要不急の事業の廃止、中止し新たな事業を展開していくとあるが、それぞれの具体的内容の説明と施策について所見を伺う</p> <p>(2) モノレール旭橋駅周辺市街地再開発事業、牧志・安里地区市街地再開発事業、農連市場地区再開発事業における総事業費、起債、一般財源についてそれぞれの説明と、完成後の市税の収入予想額について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（1日目） 平成18年9月13日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	屋良 栄作 (自民・無所属 連合)	<p>1 高齢者の健康増進について（グランドゴルフの件）</p> <p>2 交通安全行政について</p> <p>3 サテライトオフィスについて</p>	<p>本市の高齢者人口が年々増加していく中、公園でよく見かけるグランドゴルフをする高齢者の数も増えているものと推察できるが、グランドゴルフチームの数や人口を把握しているか伺う。その上で、現在の市内にある公園や広場で、その需要をまかないきれっているのか伺う</p> <p>また、一部のお年寄りから、公園の使い勝手がわからないため、あるいは公園当局との考え方の相異からか、不平不満の声を聞いている。窓口対応はどうなっているのか伺う</p> <p>さらに本件については、お年寄りの健康維持という観点から健康福祉部の方からも推進するべき、鋭意努力とケアをする必要があると思われるが、縦割り行政の枠をこえた対応をできないものか。見解を伺う</p> <p>ホテル「ザ・ナハテラス」の側、おもろまち2丁目から泊1丁目の旧Sマートへ抜けて行く道が整備されて久しいが、運転手からは、便がよくなったものの地域住民とりわけ児童や幼児、お年寄りにとっては、マナー違反のドライバーによる危険運転により、危険度が增大している</p> <p>当局として、早速調査及び対策を講じるべきであると考えているが、見解を伺う</p> <p>琉球大学と連携して、IT事業に取り組むということ素晴らしいと思っているが、今後4年制大学のサテライトオフィスを本市に誘致する考えはないか伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（1日目） 平成18年9月13日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	我如古 一郎 (日本共産党)	<p>1 障害者自立支援制度について</p> <p>2 ジェネリック（後発）医薬品の普及について</p>	<p>(1) この制度ができて4カ月、一割の自己負担が障害者の入所・通所施設の利用を困難にする事態になっている。市内の障害者の状況はどうなっているか。どのような苦情が寄せられているか</p> <p>(2) 収入は変わらないのに、税制改定で市民税課税世帯にされて、所得区分が大幅に増えた障害者世帯に負担軽減策をとるべきと思う。見解を問う</p> <p>(3) 障害福祉サービスと地域支援サービスを合わせた利用料負担合計の上限を設ける考えはないか。収入認定を世帯ではなく本人で認定すべきである。見解を問う</p> <p>(1) 2002年2月定例会・9月定例会でも取り上げたが、その後、市立病院での使用品目・比率はどうなったか。また、今後の対応を問う</p> <p>(2) この医薬品を使うメリット、デメリットは何か</p> <p>(3) 仮に、同じ薬効の高血圧の薬で、先発薬と後発薬の医療費を比較すると、1カ月で患者一人当たりどれだけの差が出るか</p> <p>(4) 仮に使用比率を50%まで上げると、(3)の場合、国保の医療費の支払いに、どの程度の影響が出ると試算されるか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 県道 222 号線の整備について</p> <p>4 国場地内の排水路の整備について</p>	<p>(5) 自己負担が増える高齢者をはじめ、患者の負担を軽減し、国保の財政を少しでも改善するために、市立病院だけでなく、医師会や市内の医療機関にジェネリック医薬品の使用を要請することも必要ではないか</p> <p>(1) 真地44番地付近の道路はこの間、歩道のない未整備のまま20年も経過している。せめて歩道の整備をとの住民の声を、県に要請すべきではないか</p> <p>(2) バイパス道路の進捗状況、完成はいつになるか</p> <p>国場1044番地付近の排水路は、いつも生活排水が溜まり、悪臭が出ると苦情が出ている。改修すべきではないか。抜本的な対策は、ふたをすることではないか。対応を問う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、病院事業管理者、上下水道事業管理者、関係部長</p>



個人質問（1日目） 平成18年9月13日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	永山盛廣 (自民・無所属 連合)	<p>1 庁舎管理行政について</p> <p>2 教育行政について</p> <p>3 元気づくり行政について</p>	<p>「真和志村家」の命名について</p> <p>上下水道庁舎が移転した後は、市民団体に開放され、真和志自治会長連絡協議会、高齢者等が活用できる関連施設、その他教育委員会の行政施設等が入ることになっているが、この施設は、真和志地域に住む住民の活動拠点になる。そして、真和志支所も従来どおり入る そこで、この施設の名称を「真和志村家」と命名することは大きな意義があると思う 当局の見解を伺う</p> <p>空き教室の活用について</p> <p>近年、市民の学習活動、社会活動、ボランティア活動等、市民の積極的な社会参加が活発になっているが、公民館等の稼働率も高く、学習の場所、活動のための会議集会の場がなく、多くの団体が場所の確保に難渋している また、子育て問題の一つである「学童」の場所確保にも多くの市民が困っている これらの問題を解消するために、小・中学校の空き教室を市民に開放し、活用することはできないか</p> <p>なは青年祭について</p> <p>多くの市民に感動を与えている「なは青年祭」は、年々賑わいを増し、認知度も高まり、今や、14回を数える那覇の祭りの一つになった この「まつり」は、那覇市青年団体連絡会の主催による「まつり」であるが、活動拠点になる場がなく、特に会議、合同練習、日々の練習の場所確保に難渋している</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(1) 赤嶺の旧那覇市伝統工芸館跡を、暫定的にでも使用させることはできないか</p> <p>(2) 那覇市は、この「なは青年祭」をもっと積極的に支援し、拠点づくりをはじめ、より多くの那覇の若者たちが参加できる環境整備を推進していくべきだと思う 当局の所見を伺う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、教育長、関係部長</p>